

令和 8 年度宍粟市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

<現 状（令和 7 年度）>

北部地域は、日本海型気候の影響を受け、寒冷多雨で冬季は積雪が多い。また、水田の多くは中山間地域及び山間棚田地域で農業の生産基盤となる平地農業地域が少なく、小規模兼業農家が多い。

南部地域は、瀬戸内海沿岸と中国山地東方の分水嶺とのほぼ中央の内陸にあるという位置条件から、夏は高温、冬は低温という内陸性気候の特徴を持っている。農地の多くは中山間地域に存在し、小規模兼業農家が大半を占めている。

<課 題>

全域において、農家の高齢化、後継者不足、土地持ち非農家の増加等が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、主食用米の需要が減少する中で、丹波黒大豆や麦、やまのいもなど地域振興作物への転換を推進し、水田面積の維持を図っていく必要がある。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

北部地域は、黒大豆の作付面積の増加に力を入れてきたが、ブランドを維持するために品質の向上を目指す。また、小豆については南部地域では栽培されてるが、北部地域の環境に即した栽培方法を模索し、黒大豆に並ぶ地域特産物になるように取組んでいく。さらに、すでに作付面積が増加傾向にある山椒については、地域に根付いた栽培技術を活用し、ブランド化に取り組む。

南部地域では、集落営農組織を中心とした黒大豆や白大豆、小麦の生産が団地化されることで、生産性の向上に取り組む。また、白大豆や小豆について、機械化することにより、少ない作業時間で収益を確保することが期待できる。

全域において、高齢化や農家数の減少により、栽培数が減少している伝統野菜については地域特産物としての復活と継承に取り組む。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

主食用米の需要が減少する中で、転換作物への作付を促し、地域における効率的な土地利用に配慮し、必要に応じて畑作物を推進する。水稻作に活用される見込みがない農地については作付体系を水田台帳等を活用し定期的に点検し、畑地化支援を含め検討していく。

集落営農組織や農会を中心に、米、麦、大豆のブロックローテーション体系をさらに広げていく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、良食味・安全・安心の売れる米づくりを推進する。また、種子米、酒米の生産地として規模拡大を目指す。

(2) 備蓄米

食用米の需要が減少する中で、備蓄米の取り組みについては、需要の動向に応じて推進する。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

耕種農家と畜産農家の連携を強化して、畜産農家の利用する飼料の生産に適した条件の水田を集積することにより、低コストでの自給飼料の生産定着を図る。

イ 米粉用米

食用米の需要が減少する中で、米粉用米の取り組みについては、需要の動向に応じて推進する。

ウ 新市場開拓用米

食用米の需要が減少する中で、新市場開拓用米の取り組みについては、需要の動向に応じて推進する。

エ WCS 用稲

耕種農家と畜産農家の連携を強化して、低コストでの飼料生産に適した条件の水田を畜産農家に集積することにより、自給飼料の生産の定着及び拡大を図る。

オ 加工用米

食用米の需要が減少する中で、加工用米の取り組みについては、需要の動向に応じて推進する。

(4) 麦、大豆、飼料作物

団地化及びブロックローテーションを継続し、5年後においても、現行の麦・大豆の作付面積の維持を目指す。

小麦は、種子用小麦の一大生産地となっており、国からの産地交付金を活用し、担い手の経営安定と集積化の推進を図る。

黒大豆は、丹波黒大豆を地域振興作物と位置づけ、国からの産地交付金を活用し、担い手の経営安定と集積化の推進を図る。

白大豆は、集落営農を中心に、機械化による効率化により、労働力の削減を図り、国からの産地交付金を活用し、担い手の経営安定と集積化の推進を図る。

(5) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。また、イベントとの連携を図り、農産物直売会を実施するなど所得増加の取り組みを進める。

(6) 地力増進作物

農地土壌は農業生産の基盤であり、計画的に取り組むことで、農業生産の持続的な維持向上に向けて土づくりを推進する。

(7) 高収益作物

少量多品目の野菜の作付けに対し、国からの産地交付金を活用し、直売所出荷等を促進するとともに、地産地消の観点から、給食向け野菜の生産を確保する。

また、わさび、アスパラガス、黒大豆（枝豆用）、やまのいも、ブルーベリー、山菜、小豆については、地域振興作物と位置づけ、国からの産地交付金を活用し、担い手の経営安定と集積化の推進を図る。

(8) 畑地化

大豆、そば、飼料作物、野菜について、ブロックローテーション体系が取れずに、作物が定着している団地化した農地については、畑地化支援を活用し推進を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	921.65	12.38	939.33	0	877.00	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	0	0	0	0	13.00	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	7.95	0	7.70	0	20.00	0
加工用米	0	0	0	0	3.00	0
麦	23.04	11.52	24.28	15.80	24.00	13.00
大豆	73.13	6.22	62.43	6.30	95.00	12.00
飼料作物	21.31	3.14	19.60	12.75	37.00	16.00
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	2.62	0	2.11	0	4.00	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	1.73	0	2.19	0.32	2.00	0
高収益作物	183.15	0.11	170.72	0.11	222.00	0
・野菜	123.18	0.11	116.31	0.11	150.00	0
・花き・花木	13.47	0	13.03	0	14.00	0
・果樹	32.39	0	30.03	0	35.00	0
・その他の高収益作物	14.11	0	11.35	0	23.00	0
その他	2.90	0	3.11	0	3.70	0
・育苗類	2.90	0	3.11	0	3.70	0
畑地化	18.85	0	18.92	0	20.00	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標	前年度（実績）	目標値
1	黒大豆（子実用）	黒大豆（子実用）の生産性向上に向けた取組助成	取組面積拡大	（7年度）36.06ha	（8年度）43.0ha
2	小麦	麦の生産性向上等に向けた取組助成	取組面積拡大	（7年度）11.34ha	（8年度）12.0ha
3	黒大豆（枝豆用）	黒大豆（枝豆用）助成（北部）	取組面積拡大	（7年度）3.04ha	（8年度）5.5ha
4	黒大豆（枝豆用）	黒大豆（枝豆用）助成（南部）	取組面積拡大	（7年度）0.97ha	（8年度）1.0ha
5	わさび、アスパラガス、やまのいも、ブルーベリー（新植）、たらの芽、うど、わらび、こごみ、ふき	地域特産物助成	取組面積拡大	（7年度）3.47ha	（8年度）8.9ha
6	小豆	小豆助成（基幹）	取組面積拡大	（7年度）1.25ha	（8年度）7.0ha
7	小豆	小豆助成（二毛作）	取組面積拡大	（7年度）0ha	（8年度）2.0ha
8	小豆	担い手による小豆助成(基幹)	取組面積拡大	（7年度）1.59ha	（8年度）5.0ha
9	小豆	担い手による小豆助成(二毛作)	取組面積拡大	（7年度）0ha	（8年度）0.2ha
10	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	戦略作物の二毛作助成	取組面積拡大	（7年度）20.77ha	（8年度）37.5ha
11	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	耕畜連携助成(わら利用、水田放牧、資源循環)	取組面積拡大	（7年度）17.29ha	（8年度）30.0ha
12	一般作物	一般作物助成(基幹)	取組面積拡大	（7年度）13.61ha	（8年度）18.0ha
13	一般作物	担い手による一般作物助成(基幹)	取組面積拡大	（7年度）4.96ha	（8年度）7.0ha
14	白大豆（一般）	白大豆助成	取組面積拡大	（7年度）2.60ha	（8年度）8.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:

協議会名: 宍粟市地域農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取組要件等 ※4
1	黒大豆(子実用)の生産性向上等に向けた取組助成	1	25,000	黒大豆(子実用)	1.0ha以上の面積要件を満たす担い手、3年以上のブロックローテーションまたは1.0ha以上面的集積する取組
2	麦の生産性向上等に向けた取組助成	1	15,000	小麦	1.0ha以上の面積要件を満たす担い手、3年以上のブロックローテーションまたは1.0ha以上面的集積する取組
3	黒大豆(枝豆用)助成(北部)	1	30,000	黒大豆(枝豆用)	作付面積に応じて助成
4	黒大豆(枝豆用)助成(南部)	1	10,000	黒大豆(枝豆用)	作付面積に応じて助成
5	地域特産物助成	1	30,000	わさび、アスパラガス、やまのいも、ブルーベリー(新種)、たらの芽、うど、わらび、こごみ、ふき	作付面積に応じて助成
6	小豆助成(基幹)	1	30,000	小豆	作付面積に応じて助成
7	小豆助成(二毛作)	2	30,000	小豆	作付面積に応じて助成
8	担い手による小豆助成(基幹)	1	50,000	小豆	担い手を対象とし、作付面積に応じて助成
9	担い手による小豆助成(二毛作)	2	50,000	小豆	担い手を対象とし、作付面積に応じて助成
10	戦略作物の二毛作助成(二毛作)	2	15,000	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	「主食用米と戦略作物」又は「戦略作物同士」の組み合わせによる二毛作の作付面積に応じて助成
11	耕畜連携助成(わら利用、水田放牧、資源循環)(耕畜連携)	3	13,000	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	3年間以上を締結期間とする利用供給協定を締結すること
12	一般作物助成(基幹)	1	10,000	一般作物(詳細は別添のとおり)	作付面積に応じて助成
13	担い手による一般作物助成(基幹)	1	50,000	一般作物(詳細は別添のとおり)	担い手を対象とし、作付面積に応じて助成
14	白大豆助成	1	25,000	白大豆(一般)	担い手を対象とし、1.0ha以上の面積要件を満たす取組

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

対象作物一覧表

カテゴリー	区分	作物等名	作物コード	整理番号		
戦略作物	麦	小麦	100	2	10	
		小麦（種子用）	101	2	10	
		六条大麦	102		10	
		二条大麦	104		10	
		はだか麦	106		10	
	大豆	青大豆	109		10	
		白大豆（一般）	122		10	14
		白大豆（契約）	123		10	
		白大豆（種子用）	112		10	
		黒大豆	110	1	10	
	飼料作物	黒大豆（種子用）	111	1	10	
		青刈りとうもろこし	124		10	11
		ソルガム（青刈りソルガム、スーダングラス）	125		10	11
		わら専用稲	113		10	11
		その他青刈り（テオシント、青刈り麦、青刈り大豆、しこくびえ、青刈りひえ）	126		10	11
		永年性牧草（オーチャードグラス、チモシー、トールフェスク、メードフェスク、パヒアグラス、アルファルファ、ケンタッキーブルーグラス、アカクローバー、シロクローバー、ペレニアルライグラス、リードカナリーグラス、飼料用シバ）	127		10	11
		イタリアンライグラス	128		10	11
		その他一年性牧草（ギニアグラス、カラードギニアグラス、ローズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、オオクサキビ）	129		10	11
		飼料用根菜類（飼料用かぶ、飼料用ビート）	130		10	11
		飼料用穀類（子実用えん麦）	131		10	11
		青刈りハトムギ（飼料用）	132		10	11
		子実用はと麦	121		10	11
		その他飼料作物	133		10	11
		その他飼料作物（資源循環非対象）	134		10	11
		飼料用青刈り稲	157		10	11
	新規需要米	稲発酵粗飼料用稲（専用種）クサノホシ、クサユタカ、クサホナミ、リーフスター、はまさり、ホシアオバ、タカナリ、兵系飼78号（兵庫牛若丸）、夢あおば	135		10	11
	そば・加工用米	稲発酵粗飼料用稲（その他）	136		10	11
		飼料用米	116		10	11
		米粉用米	115		10	
		加工用米	119		10	
		そば	117		10	
その他作物	野菜	なたね	118		10	
		きゅうり	200	12	13	
		トマト	201	12	13	
		なす	202	12	13	
		大市なす	285	12	13	
		ピーマン	203	12	13	
		ししとう	288	12	13	
		トウガラシ	293	12	13	
		ズッキーニ	289	12	13	
		かぼちゃ	204	12	13	
		くり南瓜	282	12	13	
		いちご	205	12	13	
		すいか	206	12	13	
		メロン	207	12	13	
		キャベツ	208	12	13	
	果樹	キャベツ（裏作転作）	209			
		はくさい	248	12	13	
		はくさい（裏作転作）	210			
		さんとうさい	292	12	13	
		ほうれんそう	211	12	13	
		オクラ	262	12	13	
		ハス	268	12	13	
その他作物	野菜	ねぎ	212	12	13	
		太ねぎ	263	12	13	
		岩津ねぎ	265	12	13	
		丹波ひかみねぎ	266	12	13	
		たまねぎ	254	12	13	
		たまねぎ（裏作転作）	213			
		らっきょ	291	12	13	
		レタス	214	12	13	
		レタス（裏作転作）	264			
		だいこん	256	12	13	
		だいこん（裏作転作）	215			
		青味だいこん	284	12	13	
		にんじん	216	12	13	
		にんじん（裏作）	287			
		さといも	217	12	13	
	果樹	れんこん	218	12	13	
		しょうが（根シガ）	219	12	13	
		えだまめ（白大豆）	220	12	13	
		えだまめ（黒大豆）	255	3	4	
		青さやいんげん	221	12	13	
		未成熟とうもろこし	222	12	13	
		食用ばれいしょ	223	12	13	
		食用かんしょ	224	12	13	
		厄詣（あまいも）	281	12	13	
		アスパラガス	225	5		
		きのこ類	226	12	13	
		ブロッコリー	227	12	13	
		ニラ	228	12	13	
		やまのいも	229	5		
		未成熟そらまめ	230	12	13	
その他作物	果樹	一寸そら豆	237	12	13	
		しゅんぎく	231	12	13	
		青さやえんどう	232	12	13	
		うすいえんどう	238	12	13	
		かぶ	233	12	13	
		ごぼう	234	12	13	
		まくわうり	235	12	13	
		しろうり	236	12	13	
		ぺっちゃんうり	280	12	13	
		とうがん	286	12	13	
		セロリ	239	12	13	
		食用なばな	283	12	13	
		その他つけな類	240	12	13	
		みつば	241	12	13	
		パセリ	242	12	13	
	果樹	ふき	243	5		
		しそ	244	12	13	
		なた豆	245	12	13	
		うど	246	5		
		キクイモ	247	12	13	
		チンゲンサイ	249	12	13	
		その他中国野菜	250	12	13	
		その他野菜	251	12	13	
		加工食品用ばれいしょ	252	12	13	
		カリフラワー	253	12	13	
		しろな	257	12	13	
		こまつな	258	12	13	
		みずな	259	12	13	
		ヤーコン	260	12	13	
		わさび	261	5		
その他作物	果樹	セリ	267	12	13	
		その他湛水性作物	269	12	13	
		モロヘイヤ	270	12	13	
		バジル	271	12	13	
		ハーブ	290	12	13	
	果樹	ニンニク	272	12	13	
		ニンニク（特産）	273	12	13	
		みょうが	274	12	13	
		ゴーヤ	275	12	13	
		よもぎ	276	12	13	
		わらび	277	5		
		こごみ	278	5		
		施設野菜	279	12	13	
		日本なし	401			
		西洋なし	402			
その他作物	果樹	もも	403			
		うめ	404			
		びわ	405			
		かき	406			
		くり	407			
		いちじく	408			
		キウイフルーツ	409			
		ゆず	410			
		すだち	411			
		ブルーベリー	413	5		
	果樹	うんしゅうみかん	414			
		りんご	415			
		ぶどう	416			
		おうとう	417			
		その他果樹	412			
		花き	500	12	13	
		若松	501			
		花木	504			
		種苗類	502	12	13	
		芝	503	12	13	
	果樹	ツノナス	505	12	13	
		カーネーション	506	12	13	
		ストック	507	12	13	
		なたね（花）	508	12	13	
		キク	509	12	13	
		キンセンカ	510	12	13	
	果樹	地力増進水稻	658			
		とうもろこし（地力）	650			
		ソルガム（地力）	651			
		クローバー（アカ、シロ）	652			
		れんげ（地力）	653			
		ヘアリーベッチ（地力）	654			
		その他地力増進作物	655			
		コスモス	700			
		ひまわり（景観）	701			
		なたね（景観）	702			
その他作物	果樹	マリーゴールド	703			
		れんげ（景観）	704			
		そば（景観）	705			
		べにばな	706			
		チューリップ	708			
		ヘアリーベッチ（景観）	709			
		その他景観形成作物	707			
	果樹	えごま	352	12	13	

カ テ ゴ リ	区 分	作 物 等 名	作 物 コード	整 理 番 号			
そ の 他 作 物	野 菜	ねぎ	2 1 2	12	13		
		太ねぎ	2 6 3	12	13		
		岩津ねぎ	2 6 5	12	13		
		丹波ひかみねぎ	2 6 6	12	13		
		たまねぎ	2 5 4	12	13		
		たまねぎ（裏作転作）	2 1 3				
		らっきよ	2 9 1	12	13		
		レタス	2 1 4	12	13		
		レタス（裏作転作）	2 6 4				
		だいこん	2 5 6	12	13		
		だいこん（裏作転作）	2 1 5				
		青味だいこん	2 8 4	12	13		
		にんじん	2 1 6	12	13		
		にんじん（裏作）	2 8 7				
		さといも	2 1 7	12	13		
		れんこん	2 1 8	12	13		
		しょうが(根ショウガ*)	2 1 9	12	13		
		えだまめ(白大豆)	2 2 0	12	13		
		えだまめ(黒大豆)	2 5 5	3	4		
		青さやいんげん	2 2 1	12	13		
		未成熟とうもろこし	2 2 2	12	13		
		食用ばれいしょ	2 2 3	12	13		
		食用かんしょ	2 2 4	12	13		
		ニ蒔（あまいも）	2 8 1	12	13		
		アスパラガス	2 2 5	5			
		きのこ類	2 2 6	12	13		
		ブロッコリー	2 2 7	12	13		
		ニラ	2 2 8	12	13		
		やまのいも	2 2 9	5			
		未成熟そらまめ	2 3 0	12	13		
		一寸そら豆	2 3 7	12	13		
		しゅんぎく	2 3 1	12	13		
		青さやえんどう	2 3 2	12	13		
		うすいえんどう	2 3 8	12	13		
		かぶ	2 3 3	12	13		
		ごぼう	2 3 4	12	13		
		まくわうり	2 3 5	12	13		
		しろうり	2 3 6	12	13		
		べっちゃんうり	2 8 0	12	13		
		とうがん	2 8 6	12	13		
		セロリ	2 3 9	12	13		
		食用なばな	2 8 3	12	13		
		その他つけな類	2 4 0	12	13		
		みつば	2 4 1	12	13		
		パセリ	2 4 2	12	13		
		ふき	2 4 3	5			
		しそ	2 4 4	12	13		
		なた豆	2 4 5	12	13		
		うど	2 4 6	5			
		キクイモ	2 4 7	12	13		
テンゲンサイ	2 4 9	12	13				
その他中国野菜	2 5 0	12	13				
その他野菜	2 5 1	12	13				
加工食品用ばれいしょ	2 5 2	12	13				
カリフラワー	2 5 3	12	13				
しろな	2 5 7	12	13				
こまつな	2 5 8	12	13				
みずな	2 5 9	12	13				
ヤーコン	2 6 0	12	13				
わさび	2 6 1	5					
セリ	2 6 7	12	13				
その他湛水性作物	2 6 9	12	13				
モロヘイヤ	2 7 0	12	13				
バジル	2 7 1	12	13				
ハーブ	2 9 0	12	13				

8 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

穴粟市地域農業再生協議会

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠（A+B）			活用予定額
		当初配分 （A）	追加配分 （B）	
中央市地域農業再生協議会	27,468,000	27,468,000		27,445,800

(注) 追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

配分枠

27,468,000 円

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単価① (円/10a)	面 積 (a単位)※3																所要額 ①×② (円)
				戦略作物						新市場 開拓用 米	そば	なたね	地力 増進 作物	高収益作物				その他	合計 ② ※5	
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲					加工用米	野菜	花き ・花木	果樹			
1	黒大豆(子実用)の生産性向上等に向けた取組助成	1	25,000		4,947														4,947	12,367,500
2	麦の生産性向上等に向けた取組助成	1	15,000	848															848	1,272,000
3	黒大豆(枝豆用)助成(北部)	1	30,000											212					212	636,000
4	黒大豆(枝豆用)助成(南部)	1	10,000											103					103	103,000
5	※6 高収益作物(花き、アスパラガス、やぶこぼれ、ブルーベリー、いちじく、りんご、梨、みかん、こしだんご)	1	30,000											311		3	35		349	1,047,000
6	小豆助成	1	30,000														124		124	372,000
7	小豆助成(二毛作)	2	30,000																0	0
8	担い手による小豆助成	1	50,000														29		29	145,000
9	担い手による小豆助成(二毛作)	2	50,000																0	0
10	戦略作物の二毛作助成	2	15,000	1,654	629	1,275					10								3,568	5,352,000
11	耕畜連携助成(わら利用、水田放牧、資源循環)	3	13,000			441			770										1,211	1,574,300
12	一般作物助成(基幹)	1	10,000											1,439	45		23		1,507	1,507,000
13	担い手による一般作物助成(基幹)	1	50,000											439					439	2,195,000
14	白大豆助成	1	25,000		350														350	875,000
合 計 (基 幹)※4			実面積	848	5,297	441	0	0	770	0	0	0	0	2,504	45	3	211	0	10,119	27,445,800
合 計 (二 毛 作)※4			実面積	1,654	629	1,275	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	3,568	

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 「面積」は、当初配分により支援を行う使途について記入し、追加配分により支援を行う使途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。

※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの面積の合計を記入してください。

※5 ②の合計は、各使途の合計面積を記入してください。

※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注) 使途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

(1) 次の優先順位で単価を調整する。

①整理番号1『黒大豆(子実用)の生産性向上等に向けた取組助成』(上限36,000円)と整理番号2『麦の生産性向上等に向けた取組助成』(上限21,000円)と整理番号10『戦略作物の二毛作助成(二毛作)』(上限21,000円)、整理番号14『白大豆助成』(上限36,000円)を上限単価まで1,000円単位で単価調整し増額する。

(2) 上記(1)で余剰金が出た場合は、②整理番号11『耕畜連携助成(わら利用、水田放牧、資源循環)(耕畜連携)』(上限19,000円)、③整理番号3『黒大豆(枝豆用)助成(北部)』(上限43,000円)、整理番号4『黒大豆(枝豆用)助成(南部)』(上限14,000円)を②⇒③と優先的に上限単価まで1,000円単位で増額。その後、残りのメニューについて上限単価まで1,000円単位で単価調整。

(3) 減額調整時は、減少額に応じて調整する(千円未満切り捨て)。

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

対象作物の作付面積が拡大し、所要額が配分枠を超過した場合、①整理番号5と12について一律1,000円減額する。②整理番号6、7について一律1,000円減額する。③整理番号3、4について一律1,000円減額する。④残りのメニューについて一律1,000円減額する。

1,000円ずつ調整しても不足する場合は、再度①⇒②⇒③⇒④の順に減額調整する。

6. 高収益作物について

落花生、その他豆類(ささげ豆)、薬用作物(セネガ)、うこん、ドクダミ、カワラケツメイ、綿花、こんにゃく、ごま、えごま、小豆、たらの芽

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜・花き・花木・果樹除く)を記載してください。

注2 収益性のわかるデータを添付してください。

水田活用の直接支払交付金に係る高収益作物所得計算書

協議会名：宍粟市地域農業再生協議会

高収益作物カテゴリー	作物名	10a当たり収量(kg)	販売単価(円/kg)	機械整備費(円/10a)	種苗、肥料等の諸経費(円/10a)	投下労働時間(円/10a)	収益(10a/円)
その他	落花生	131	1,000	5,000	43,000	5,000	78,000
	その他豆類(ささげ豆)	100	5,000				500,000
	薬用作物(セネガ)	150	5,000		100,000	60,000	590,000
	うこん	300	2,000				600,000
	ドクダミ	5,000	100	0	100,000	120,000	280,000
	カワラケツメイ	150	1,200		21,000	12,000	147,000
	綿花	50	2,000				100,000
	こんにゃく	2,700	150	33,000	141,000	21,000	210,000
	ごま	150	2,000		150,000		150,000
	えごま	150	2,000		150,000		150,000
	小豆	150	1,400	80,000	60,000		70,000
	たらの芽	120	3,072	38,316	63,000		369,000